

されるところである。このような組織
 の中で連携や情報交換は校内研修の
 推進に大きな役割を果たしている。

(2) 推進計画

推進計画の立案に当たっては、前年
 度までの反省を十分に反映させること
 である。次の①～⑤は、立案に当たっ
 ての基本的な内容である。

- ① 研修会の年間活動計画
 - ② 研修会の日程（研究推進委員会
 全体会、分科会、授業研究等）
 - ③ 研修成果のまとめと評価（研究
 集録、報告書作成日程等）
 - ④ 指導講師の来校時期及び指導助
 言内容
 - ⑤ 予算措置と執行予定
- 次に実際の研究計画（二年間）の例
 を示してみる。（資料4・5参照）

3、研修を進める上での留意点

教職員の研修を進めるに当たっては
 すでに、学校の教育目標を達成するた
 めの活動であることを認識すべきであ
 ると述べたが、さらに次のことから
 留意しておく必要がある。

- 教員全員で組織的に進めること
 - 児童生徒の実態に即して具体的
 に進めること。
 - 継続的、発展的に進めること。
- しかし、実際に進めていくうちに
 様々の問題が生じてくる。いくつかの
 学校での問題点をまとめてみると、
- 児童生徒の実態把握が不十分で
 ある。

(資料4) A校における研究計画例（2年間）

第 1 年 次

重度・重複障害児指導に関する基礎的理解を深め、実践の累積により、指導の手がかりをさ
 ぐり、研究課題の共通理解と焦点化をはかる。

月	主 な 研 究 活 動	備 考
4	○研究主題(仮主題)の設定と研究の趣旨の理解	○計 画 期 ○基礎的理解期 ↓ ○理解推進期 ↓ ○実践検証期 ↓ ○実践充実期 ↓ ○修 正 期
5	○研究計画の立案と研究課題に対する意識の高揚及び研究主題の理解	
6	○研究主題の決定と目標、内容、文法の焦点化	
7	○研究組織の確立、グループの編成 ○資料の収集と整理 ○具体的研究計画の立案と研究対象児の選定	
8	○授業研究の進め方 ○実践、検証のねらいの設定	
9	○授業研究の計画と実施 ○分科会の設定 ○研究内容の精選と実践研究の推進	
10	○事例研究の実践 ○分科会の開催	
11	○分科会及び全体会での報告会	
12	○校内研究会の実施及び事例研究のまとめ	
1	○研究テーマに対する一年次のまとめ ○本年度の研究の反省と研究推進状況の確認	
2	○次年度研究計画の立案と目標、内容、方法の検討 ○中間報告書の作成	
3	○本年度研究のまとめと次年度の準備	